ハンドマイク街頭演説原稿例　自・公・維の新年度予算案合意

二〇二五年二月二十六日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　今年の夏には参議院選挙が行われます。昨年の衆議院総選挙で自民・公明の与党が過半数に届かなかったことで、私たちの願いが実現するチャンスが生まれました。今度は参議院でも与党を少数に追い込み、願い実現のチャンスをさらに大きくするために、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む５議席の獲得、定数４の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党にみなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　さてみなさん、先日、日本維新の会が、高校の無償化と国民医療費の削減を条件に、政府の来年度予算案に賛成することで自民・公明両党と合意しました。高校の無償化は改善ですが、政府予算案には外国に攻め込むための軍備の大幅拡大など、重大な問題がたくさん含まれています。維新の会の態度は、一部分の改善と引き換えに問題だらけの予算案に賛成することで、自公政権を助けるものだと言わざるを得ません。

　しかも、自民・公明・維新の３党合意には、最低年４兆円の国民医療費を削減すると明記し、社会保障費を削るための協議体を作ることも盛り込みました。国民生活をさらに苦しくするものです。

　自公政権のもと、国民の暮らしを支える社会保障費は高齢化などにより自然に増える分までも圧縮され、医療・介護体制は危機にひんしています。社会保障の拡充こそ必要な時なのに、逆に大幅な削減を求め、それを条件に予算に賛成するという維新の会の態度は、二重三重に反国民的で異常な態度ではないでしょうか。

　維新の会は、現役世代の社会保険料を軽くすることを前面に掲げています。高すぎる保険料引き下げが必要なことは確かです。そのために必要なことは国民の医療・介護の切り捨てではなく、大企業や超大金持ち層を優遇する税制と大幅な軍備拡張に切り込み、国民健康保険や健康保険などへの公費投入を増やすことだと、日本共産党は考えます。

　アメリカ言いなりに日本の軍備をどんどん増強し、大きなもうけをあげている巨大企業や超大金持ちを必要以上に優遇しているのが、自民党政治のゆがみの根本だと、日本共産党は考えています。このゆがみに手をつけず、自公政権の「医療費適正化」という名で国民生活を苦しめる政策の尻をたたいているのが、維新の会です。

　日本共産党は政府予算案について、戦前の軍国主義の時代に匹敵するような異常な軍事費の膨張、大企業へのばら撒き、国民生活に冷たいという三つの大問題があり、これをおおもとから改める予算組み換え案を発表しました。暮らし優先の予算を実現するため、日本共産党は全力で頑張ります。日本共産党へのご支持、ご支援をよろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）